

お米の生産者の皆さまへ

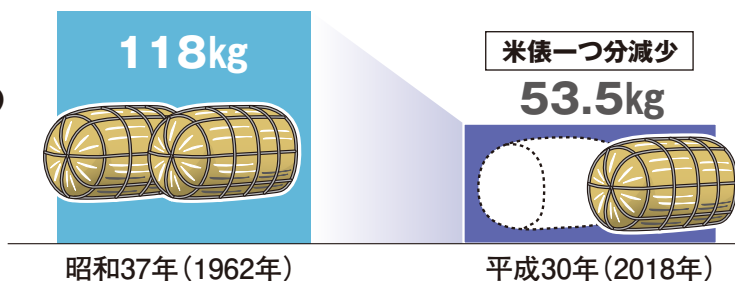
このままでは **令和3年産米価格は大幅に下落** します!

主食用米の需給動向

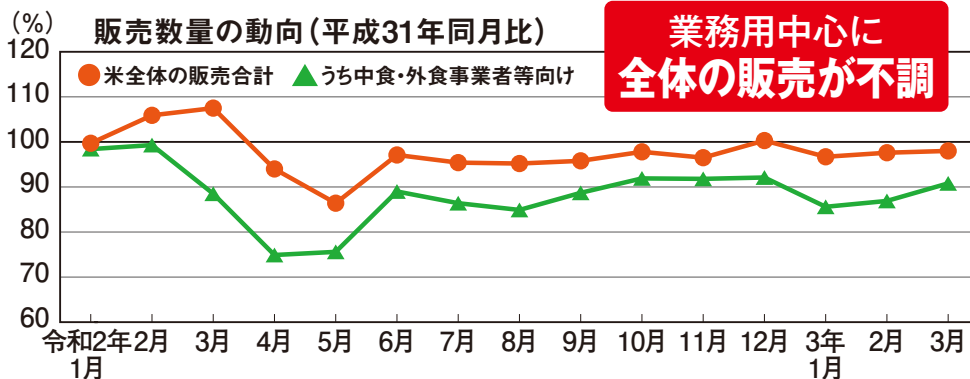
▼ 主な理由は次の通りです。

1 需要は年々減少しています

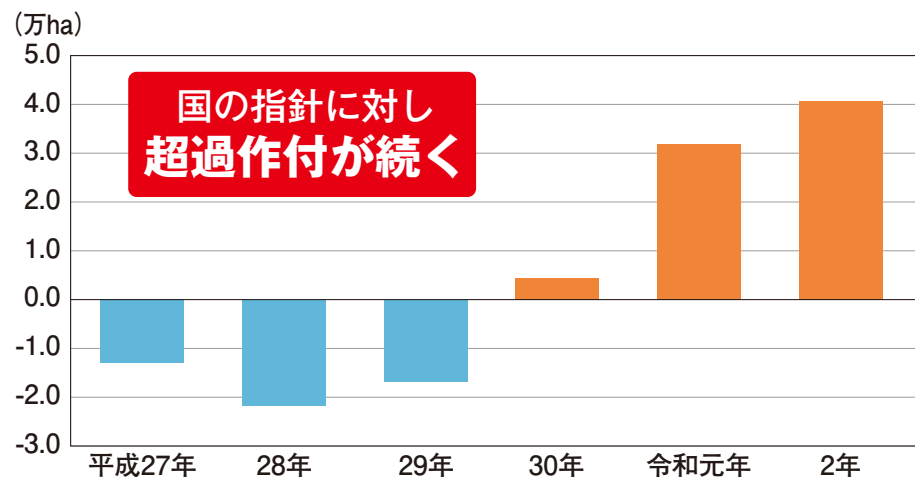
国民1人・
1年あたりの
米の消費量



3 新型コロナウイルスの影響



2 作付面積は減少していません



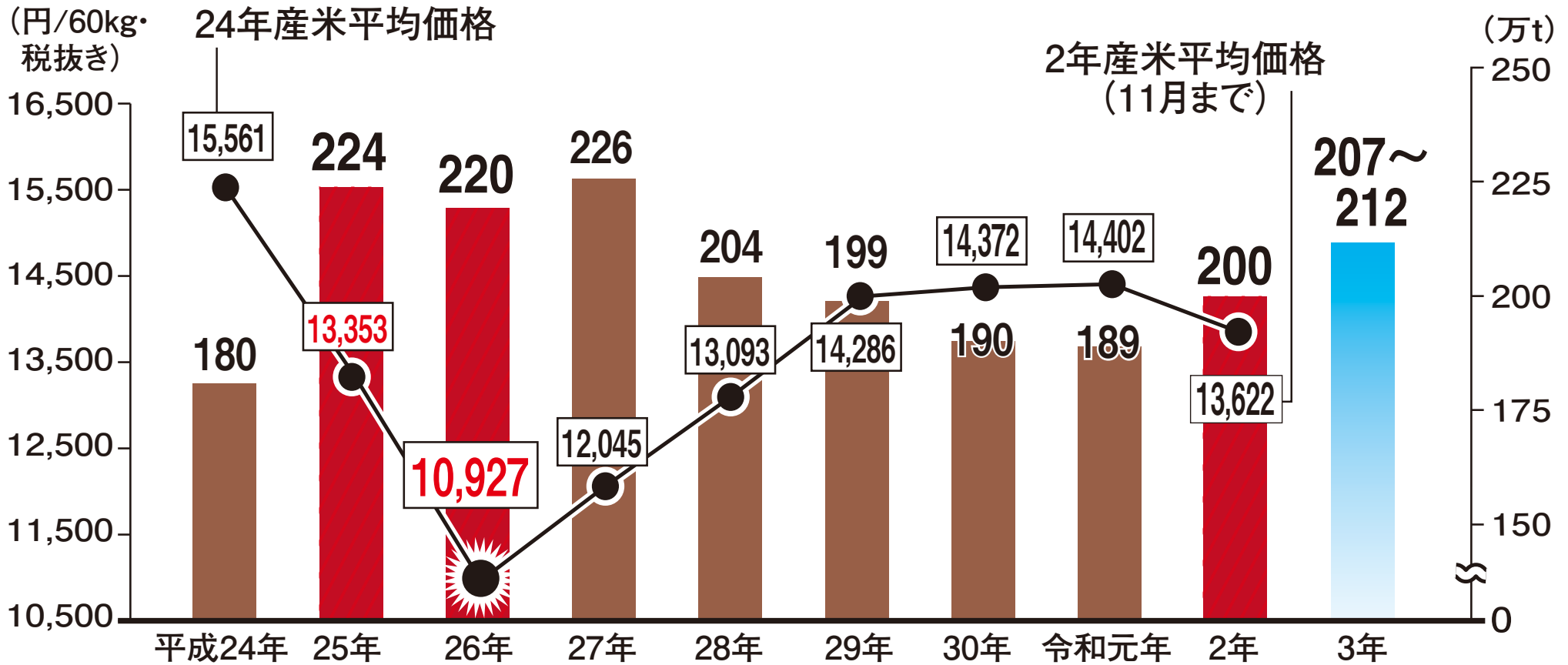
※国の基本指針における主食用等生産量(29年産までは生産数量目標、幅がある場合は下限値)の面積換算値と主食用実作付面積との差

では、どのくらい米価が
下がってしまうの?



主食用米の需給と価格の関係

価格は需給で決まります! → 米価は、6月末在庫量と関連しています。



過去に同水準の在庫量となった25、26年産では、それぞれ前年から60kgあたり**2,000円**以上も下落し、26年産では多くの産地銘柄で60kgあたり**1万円**を下回りました!

※価格は農水省公表の相対取引価格より、税・包装代控除。令和2年産米は令和3年3月までの平均価格

大変!
どうすればいいの?



令和2年産米と平成26年産米の価格水準の差

(主食用1等、円／玄米60Kg(税込))

相対取引価格が平成26年産米水準まで下落すると仮定したら、このように試算されます。

新潟一般 コシヒカリ	26年産: 15,451円
	2年産: 16,770円
	差: ▲1,319円

長野 コシヒカリ	26年産: 13,014円
	2年産: 15,353円
	差: ▲2,339円

富山 コシヒカリ	26年産: 12,995円
	2年産: 15,656円
	差: ▲2,661円

埼玉 彩のかがやき	26年産: 9,974円
	2年産: 13,463円
	差: ▲3,489円

山形 はえぬき	26年産: 10,859円
	2年産: 14,101円
	差: ▲3,242円

秋田 あきたこまち	26年産: 11,620円
	2年産: 14,844円
	差: ▲3,224円

北海道 ななつぼし	26年産: 12,453円
	2年産: 14,925円
	差: ▲2,472円

青森 まっしぐら	26年産: 9,792円
	2年産: 13,350円
	差: ▲3,558円

岩手 ひとめぼれ	26年産: 11,324円
	2年産: 14,842円
	差: ▲3,518円

宮城 ひとめぼれ	26年産: 11,564円
	2年産: 14,742円
	差: ▲3,178円

福島中通り コシヒカリ	26年産: 9,829円
	2年産: 13,486円
	差: ▲3,657円

栃木 コシヒカリ	26年産: 11,583円
	2年産: 14,457円
	差: ▲2,874円

茨城 コシヒカリ	26年産: 11,667円
	2年産: 13,704円
	差: ▲2,037円

千葉 コシヒカリ	26年産: 11,523円
	2年産: 14,123円
	差: ▲2,600円

※農林水産省公表の相対取引価格の比較により試算、2年産は出回り～3年3月の平均価格
※主要産地(2年産米の生産量の上位20県)ごとに令和元年産米の集荷数量(農林水産省公表)が最も多い銘柄(一部は地区も)を選定

飼料用米等へ作付転換し、ナラシ対策等へ加入しましょう!



主食用米以外への転換や、経営安定策への加入が必要だね!

3年産の作付動向や作柄、消費動向によっては、もっと厳しい状況になる可能性もあるぞ!

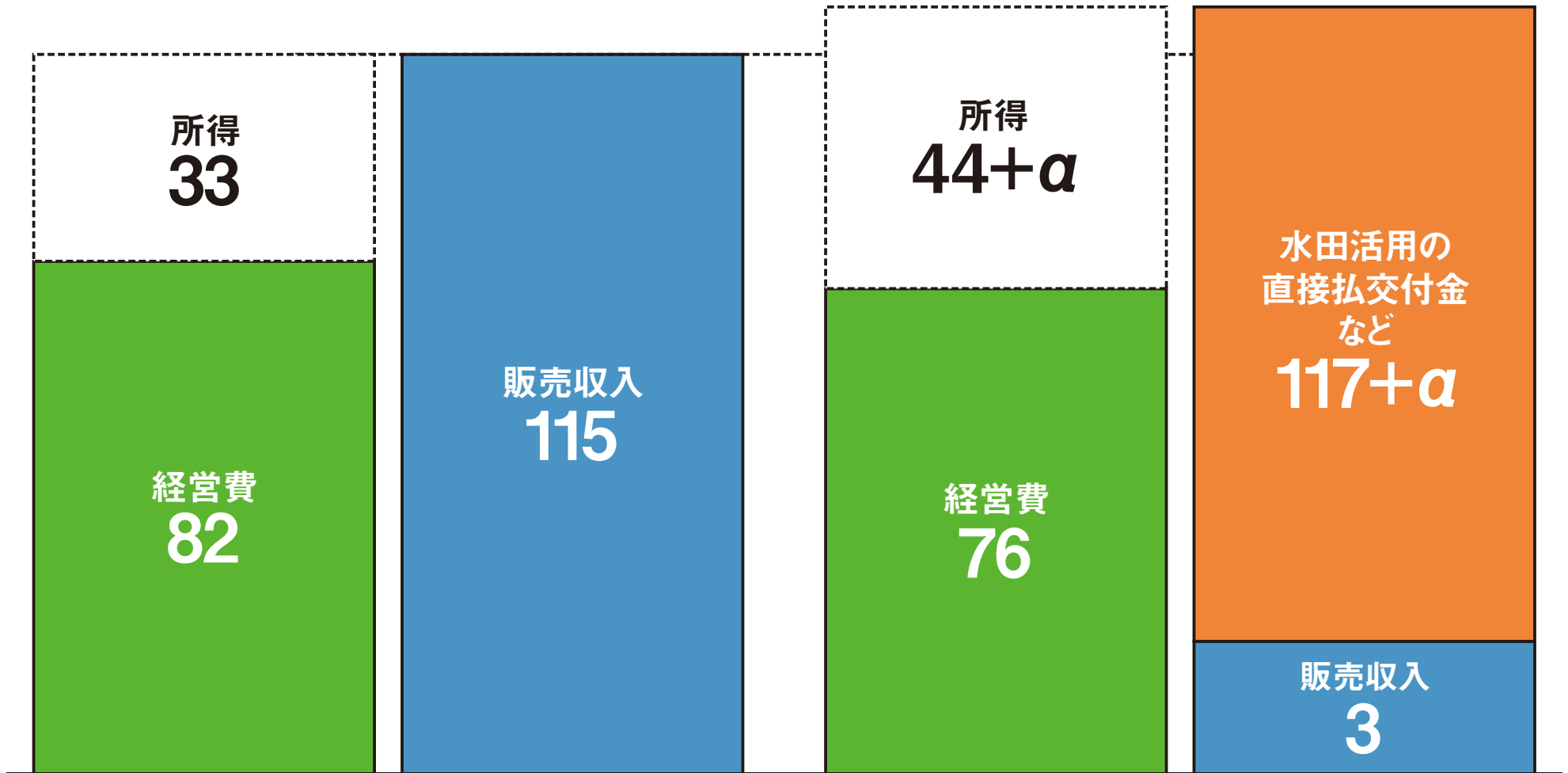


主食用米・飼料用米の所得イメージ(令和3年度)

(単位:千円/10a)

主食用米

飼料用米



※飼料用米は、多収品種を用いて、単収が標準単収値+150kg/10aとなる場合

※主食用米の経営費は、平成30年産の農産物生産費統計の全国平均

※飼料用米の経営費は、主食用米の経営費から農機具費・自動車費の償却費を控除

ナラシ対策による補てん額試算(2年産、全国平均)

元年産米

127,010円/10a
(当年産収入額)

当年産収入額
127,010円/10a

2年産米

(元年産米価から▲1,500円/60kgの場合)

123,270円/10a
(当年産収入額+補てん額)

当年産収入額
115,139円/10a

補てん額
8,131円/10a

標準的収入額
(124,174円/10a)

※差額の9割を補てん

26年産米の
補てん額は
22,157円/10a

- ※1 令和元年産米価は、出回りから令和2年8月までの全国の全銘柄平均価格(包装代、消費税含む)
- ※2 令和2年産収入額は、令和2年産水稻の10a当たり収量(12月9日公表)に令和2年産の米価(包装代、消費税含まず)(仮定)を乗じて算出したもの
- ※3 実際の補てん額は、麦や大豆などの他のナラシ対象作物ごとの収入差額を合算相殺して算定
- ※4 農林水産省資料を基に一部変更